

## 武蔵野市合流式下水道緊急改善事業事後評価委員会（第2回）

日 時：平成28年2月8日（月曜日） 午前10時00分～午前11時30分

場 所：武蔵野市役所 西棟8階 813会議室

出席委員：委員長、A委員、B委員

市事務局：下水道課長、下水道課職員3名

委託業者：日本水工設計（株）2名

傍聴者：なし

<配布資料>

資料1 武蔵野市合流式下水道緊急改善事業事後評価結果

資料2 事業評価シート（案）

発言者	質疑応答
	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）目標の達成状況と事業効果の発現状況（検証結果）について 日本水工設計より説明（資料1参照）</p> <p style="text-align: center;">&lt; 質疑応答 &gt;</p>
A委員	13頁にある数量と18頁の未処理放流回数の計画値の根拠はなにか。21頁の水質評価について、年1回の測定でなぜ平均値を求められるのか。また、第1処理区と第2処理区でグラフを分けないのはなぜかおしえてほしい。
委員長	根拠資料を示してもらわないと判断ができない。
A委員	18頁のデータのなかで、どれが合流改善施設に該当するのか。
事務局	ここに記載しているものは全て浸透施設であるが、浸透側溝、道路浸透ます、道路浸透側溝は市道路課で設置したもので、学校貯留浸透施設は市下水道課で設置したものである。市では、民間の方が宅地内に設置した場合、設置費用の助成を行っているが、宅地浸透ますと浸透トレンチについては、その実績値を記載している。
A委員	予測シミュレーションの資料はないのか。
事務局	4頁に記載している各種条件を設定して、システムに組み込んで計算している。
日水工	初期条件を設定後、計算ソフトにて自動計算をさせているので、中間工程を示すことは難しい。
委員長	宅地内や道路の設置されている浸透ます1基当たりの浸透量が記載されていない。
事務局	14頁に記載されている単位浸透量が1基当たりの浸透量になる。
A委員	14頁の単位浸透量に18、19頁の設置数量を掛けると実際の浸透量になるのか。
事務局	そのとおりである。
A委員	今回このような委員会を設置し評価を行うのは、国から多額の補助金の交付を受けたため、設置した施設の効果の発現状況を確認することが目的か。
事務局	そのとおりである。
A委員	国から補助金を受けた施設はどれにあたるのか。

事務局	17頁の貯留池①～④が国費を受けて設置した施設で、全体事業費約65億円のうち、約25億円の国庫補助を受けている。また、民間の方が宅地内に設置する浸透施設の費用に対する市の助成金の一部も国から補助を受けている。
A委員	貯留池①～④はどこにあるのか。
事務局	16頁の地図の赤くハッチのかかっている部分が合流改善施設である。
A委員	各施設の概要がわかる資料はないか。
事務局	この場所にこの規模の施設の設置が必要となった概要がわかる資料を用意する。
委員長	シミュレーションの概要でかまわないので、計算方法を示す資料を作成してもらいたい。
事務局	了解した。
A委員	18、19頁の未処理放流回数は実測値か。
事務局	これは実測値ではなく、国が示す手引きに基づきシミュレーションを行った結果の値である。
委員長	21頁の平均放流水質評価結果についても、測定方法や計算方法が示されないとこのグラフが妥当であるかどうか検討ができない。
日水工	測定方法についてご説明する。排水人口が一番多い第1処理区の最下流の女子大通りの原寺分橋付近で測定を行った。雨の降る前から現地で待機し、雨が降り始め、排水管内の分水堰を越えた汚水を5分毎、10分毎、30分毎に、雨が降り終わるまで水位測定と採水を行い、BODの検査を行っている。そうして得られたBODの量と放流量から総負荷量を求め、それを総放流量で割ったものが平均放流水質となる。
A委員	測定はどこで行っているのか。
事務局	16頁の地図の原寺分橋吐口の手前の分水堰で測定している。
A委員	この測定で関係してくる貯留池はどれか。
事務局	①の8500m <sup>3</sup> の貯留池だけである。
A委員	ほかの処理区の水質調査は行わないのか。
事務局	下水道法施行令により、水質検査は、放流水の水質が類似のものであると認められる2以上の吐口については、それらの吐口のうちいずれか1つの吐口からの放流水について検査を行うこととされている。
A委員	調査方法は国や都で認められているものか。
事務局	国が示す水質マニュアルに基づき行っている。
B委員	今回の委員会の目的は、新設した合流改善施設の効果の発現状況等を確認するための事後評価ということでよいか。
事務局	そのとおりである。
B委員	それであるならば、資料が少なすぎて数字が妥当であるかどうかを確認できない。計算に使用した各年度の数値と計算のモデルを示してほしい。
事務局	計算結果のみをお示したが、基になる数字や計算方法を示した資料を用意する。
委員長	6頁の表は10年間の平均値に最も近い2002年の降水量を使用しているのか。
事務局	そのとおりである。
委員長	どのように平均値を求め、2002年の降水量に決定したかを確認できる資料はないか。

事務局 委員長	資料を用意する。 きょう雑物の削減を目的として設置した水面制御装置の効果についてのデータや資料はあるか。
日水工	水面制御装置の効果については、下水道新技術推進機構で評価を行っているので、その資料を用意する。
A委員 委員長	委員長に伺いたい、このような施設の評価は通常どのように行っているのか。 合流改善施設は下水処理場のように頻繁に測定を行うことが難しいため、シミュレーションを行い、その値を持って評価しなければならない特殊性がある。
B委員 日水工	降水量のモデルを決めるにあたり、近年の大雨に対応した補正を行っているのか。 計画策定時に2002年の降水量を用いているため、事後評価でも同じデータを用いている。近年の大雨の傾向に対して国も現在検討を進めており、近いうちに新しい評価方法を示すと思われる。また、多摩川流域下水道野川処理区においても同じ2002年のデータを用いて計画を策定しているので、整合性を取る意味合いもある。
B委員 日水工	合流改善事業は何年から開始しているのか。 合流改善は平成13年にオイルボールが発見されてから検討が始まり、平成16年から事業が開始され、中小都市については平成25年末までに改善目標を達成することが義務付けされた。
A委員 事務局	東京都全体で水質は改善しているのか。 都や他市でも、同じ指針を用いて改善を行っている。
A委員 事務局	都は改善結果を公表しているのか。 都は大都市の区分になるので、平成35年度末までに改善を完了させればよい、まだ事業の途中である。
委員長	不足している資料は後で揃えてもらおうとして、(2)の事業評価シート(案)について説明をお願いしたい。
	(2) 事業評価シート(案)について 日本水工設計及び市事務局より説明(資料2参照) ＜ 質疑応答 ＞
A委員	6. 対象事業の整備効果の発現状況等の3番目についてであるが、流量測定結果とシミュレーションの解析結果の比較は、資料1のどれにあたるのか。
事務局	資料1には記載していない。
A委員	資料がないと検討できないので用意してほしい。
事務局	了解した。
A委員	今後の方針の3番目と4番目についてであるが、法律に基づいて水質検査や指導を行っているのか。
事務局	水質検査については法令で決まっており、東京都とは協定を締結し、業者への指導等を行っている。
A委員 委員長	条例に基づいて行っていることがわかるように記載した方がよいのではないかと。 このあたりの記載は合流改善計画とはあんまり関係ないのではないかと。

事務局	武蔵野市は合流式が9割を占めており、平成26年4月に改定した武蔵野市下水道総合計画でも水質について厳しく指導を行う旨が記載されているので、こちらにも記載した。
A委員	それであれば、武蔵野市下水道総合計画に基づくことがわかるように記載したほうがよいと思う。
B委員	7. 事業の効率化に関する取り組み状況の1番目に記載されている雨水貯留施設の貯留容量を15,400m <sup>3</sup> から10,700m <sup>3</sup> への変更した根拠はあるか。
事務局	前回の委員会で配布した資料の中で説明している。
B委員	6. 対象事業の整備効果の発現状況等の2番目の数値について、これが何を基準としている数字なのかを記載した方がよい。
日水工	下水道法施行令ではBOD40mg/l以下であればよいことになっている。
B委員	今回の事業の目標値になるのか。
日水工	今回の事業の目標値ではないが、国の目標として合流式下水道を分流式下水道のBODの量と同程度にすることになっている。法令で定められている分流式下水道の雨天時のBODが平均40mg/lなので、合流式下水道でも同じく40mg/lを基準にしている。
事務局	この数字は目標値ではないが、水質の指標にはなるかと思う。
B委員	指標となる値があるのなら、記載した方がよい。
委員長	6. 対象事業の整備効果の発現状況等の1番目についてであるが、きょう雑物の流出を削減したことは確認できているのか。
事務局	実際に削減したかどうかを確認することは難しい。
委員長	それであれば、「削減効果の認められているスクリーンを設置した」と記載するべきではないか。
委員長	資料2の事業評価シートは国へ提出するのか。
事務局	はい。
委員長	事業評価シートについては、指摘のあった箇所を修正してほしい。また、不足している資料については、メール等で構わないので各委員に送ってもらいたい。各委員が根拠資料の内容を見て問題がないことが確認されてから、事業評価シートを国へ提出するようにお願いしたい。日程は問題ないか。
事務局	大丈夫である。修正した事業評価シート、追加資料、本日の議事録を後日送付するので、確認をお願いしたい。確認が取れた後、議事録は市のホームページで公表し、事業評価シートは国に提出する。
委員長	不足している資料はいつ頃までに送付できるのか。
事務局	議事録は少し時間をいただくことになるが、その他の資料は今週中に送付する。
委員長	事後評価の期限はいつまでになるのか。
事務局	今年度中である。
委員長	それでは武蔵野市合流式下水道緊急改善事業事後評価委員会を終了する。

< 閉 会 >